



校長室通信



No.8

R2. 5. 12

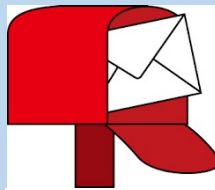
家庭と学校をつなぐ様々な工夫！

学校が休校になって2ヶ月あまりが過ぎようとしています。和歌山県でも緊急事態宣言が出され、一層の行動自粛や自制が求められています。このような前例のない状況の中で、保護者の皆様のご理解とご協力のもと、児童生徒の皆さんの学習の保障や心のケアに本校としても継続して取組を進めています。学校としては、感染防止に配慮しながら電話や家庭訪問等で健康状態や困り感等を把握させていただいています。

学習面においては、個々の実態や状況に応じて郵便を使って紙ベースの学習教材や先生方の歌声を収録したCDや先生方の自己紹介や授業紹介のDVDを届けさせていただいています。

今回、新たに高等部3年生の社会コースの生徒さんを対象に「Zoom」を使って双方向のやりとりを計画しました。各家庭の環境がそれぞれ違いますので、うまくいくかどうかはわかりませんが、できるところから取り組んでいきたいと考えています。また、一部の学部では、すでにYouTubeを使って動画配信も行っています。

今後も家庭と学校をつなぐ様々な工夫を行い、学校再開後、スムーズに児童生徒の皆さんが学校生活を始められることを願っています。



「3つの密」を避け、玄関ホールで郵送物の袋詰め作業をしています。

校庭の様子紹介



本校の校名でもある「たちばな」の花が咲きました。昨年の実も残っています。初代の木は枯れてしまい、この木は、有田ライオンズクラブから頂いたものです。

～創立30周年を迎えて～

たちばな

思い出のアルバム④



校章は、開校の年、平成3年に策定されました。開校当時の職員の関係者が考案したそうです。オレンジ色の丸は、たちばな（みかん）の実を表現し、緑色の三角形は、たち

ばなの葉を表現しています。一つ一つは、子どもたちの姿を表し、小学部・中学部・高等部の3つの学部の子どもたちが大空に広がる未来に向かって歩いていくことを願っているようにも見えます。また、3つの向きの違いから、子どもたちの実態を一面から捉えるのではなく、多面的に捉え、子どもたちの長所を伸ばしてほしいという願いが感じられます。

先人の思いは、こんなところにも込められています。この校章に込められた思いは、これからも大切に守っていききたいです。（内容の一部は、本校学校要覧を参照しました。）



本校の校章です。

